



DATA：歯科・口腔外科、口腔がんセンター

- 日本口腔外科学会認定研修施設、日本口腔診断学会認定医制度研修施設、日本老年歯科医学会認定研修施設、日本歯科麻酔学会認定病院、一般社団法人日本顎顔面インプラント学会認定研修施設、日本歯科人間ドック学会認定施設
- 平均外来患者数(日)：[歯科・口腔外科] 1日平均外来患者数約150名、平均入院患者数約8名、歯科医師数30名 [口腔がんセンター] 1日平均外来患者数約16名、平均入院患者数約12名、歯科医師数3名
- 主な対象疾患：[歯科・口腔外科] 口腔外科全般、粘膜疾患、唇顎口蓋裂、顎変形症、デンタルインプラント、顎顔面補綴、摂食・嚥下機能障害、睡眠時無呼吸症候群 [口腔がんセンター] 口腔癌全般、頭頸部癌による放射線性骨髄炎、悪性腫瘍術後の顎顔面再建

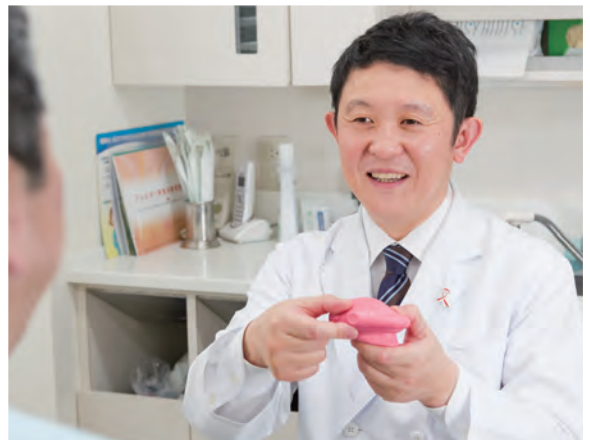
口腔癌に立ち向かう

先進国で唯一罹患率・死亡率とも増加傾向にある口腔癌に日々立ち向かう「口腔がんセンター」。舌、歯肉、口底などの口腔領域全般に発生する悪性腫瘍の治療に特化した施設です。口腔に発生する悪性腫瘍は、口腔粘膜上皮から発生する「扁平上皮癌」が、その多くを占めています。

当センターでは院内の様々な診療科の支持により多様な背景因子を持つ口腔癌患者様への多面的対応が可能です。治療法には外科療法、化学療法、放射線療法などがあります。基礎疾患を持ちリスクの高い患者様には放射線療法を行うこともあります。口腔には顎骨や歯などの硬組織が存在するため、外科療法を選択するのが一般的です。進行した癌については、外科療法、化学療法、放射線療法を併用して集学的な治療を行います。



医科・歯科連携。病院創設時の想いは今もなお。



総合病院のメリットを最大限に

外科療法では組織欠損が伴うため、口腔顎顔面領域の変形を生じます。そのため当院では、形成外科と連携し、体の他部位から有茎組織または遊離組織を移植して補填し、変形を最小限に留め、切除・再建後には口腔機能評価を行っています。そして、この口腔機能を向上させるため、術後には摂食嚥下専門医・顎補綴専門医・言語聴覚士・理学療法士といった専門家ははじめ、NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)・緩和ケアチームのほか、基礎疾患のある患者様には各担当医師がつくなど多くのスタッフが関わりあって各ステージに対応できるよう、患者様中心の多職種連携によるチーム医療を実践しています。

周術期口腔機能管理を担う 歯科・口腔外科

周術期口腔機能管理は、癌患者様などの治療に際して医科・歯科が連携し、術前の口腔管理と

歯科単独医療から地域包括医療の実践へ

歯科・口腔外科
口腔がんセンター

術後合併症の予防を目的としたものです(平成26年診療報酬改定)。したがって病院だけで完結する医療ではなく地域の医療資源が連携しあうことで、患者様によりよい医療を提供することができます。地域がん診療連携拠点病院でもある当院では、以前から術後合併症の予防と早期退院を目的とした口腔ケアチームを立ち上げていました。これからも引き続き医科・歯科連携を推進するとともに、地域医療を担う皆様との連携、そして地域完結型包括医療の実践を目指していきます。

オーラルメディシンとして

当院の歯科が標榜している「オーラルメディシン」と

は、口腔とその隣接臓器、そして全身との関連性を考究する学問のことです。すなわち、口腔病変の治療のみならず、病変により失われた口腔機能を回復して患者様の日常生活を豊かにすることを目指しています。そのため歯科医師だけでなく、あらゆる職種と連携したチーム医療を進めています。例えば難治性の粘膜疾患では皮膚科と協働して「粘膜外来」を、睡眠時無呼吸症候群の治療では耳鼻咽喉科を中心に循環器内科、神経内科と連携しながら「いびき無呼吸専門外来」を設置しています。

また、唇顎口蓋裂、顎変形症の治療といった高難度な手技にも積極的に取り組んでいます。

患者様紹介について

口腔粘膜に発生する粘膜病変は、口腔癌との識別が必要です。治りにくい口内炎ができたとき、患者様は内科を受診する場合もあるようです。市川市近隣歯科医師会では「口腔がん早期発見システム(OCDSIN)」を構築していますので、口腔粘膜異常の場合には連携関係にある歯科医院または当院へご相談ください。詳細な診療情報については、お判りの範囲でお知らせください。



口腔がんセンター センター長
高野伸夫 先生

information

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成27年7月15日(水) ❖ 時間：20:00～
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 3階会議室

周術期口腔機能管理を利用した地域包括医療の構築

- 院外パスを利用した病診連携の構築(野村武史)
- 院内口腔ケアの医科歯科連携(三條祐介)
- 院内口腔ケアの実際：症例報告(大屋朋子)



歯科・口腔外科 部長
野村武史 先生

みなさまのご参加、お待ちしております。

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さまのご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)